

学び舎にエアコン設置を

日本共産党
松岡 光子



教育長 優先順位からも設置は困難



▲現在は扇風機で暑さ対策（南小）

問 全小中学校にエアコン設置をすべきと考えるが、平成25年に全教室に扇風機が設置された。室温の環境基準では、30度以下25〜28度が最適とある。教室の環境調査として室温、暑さ指数などの測定は。
答 法により定められた環境調査は学校薬剤師が検査を実施。教室温度の定期的な測定や暑さ指数の算出は未実施。
問 何を持って環境基準が守れていると判断するのか。簡易な暑さ指数計

を用い測定すべきでは。
答 学校薬剤師と今後暑さ指数の追加検査が可能か協議する。
問 明石市は今後2年間で全小中学校にエアコンを設置する。町もエアコン設置に向けた設計委託費を補正計上する考えは。
答 今年度設計委託費を補正計上すると、来年度実施することになり、その考えはない。
問 エアコン設置率の全国調査によると小中の普通教室は32・8%で平成22年と比べて倍加している。体調管理上、学習意欲・学習効率から学力向上につながる。町でも補助金を活用して設置すべきでは。
答 補助金は老朽化した校舎や体育館の改修でさえ何年も前から要望し、やっと一つ採択される状況。町としては、優先順位の高いものから実施しておりエアコン設置は困難である。
その他質問
▼町道浜幹線の除草は

地震に対する取り組みは

新政会
松下 嘉城



角田理事 地域防災力の強化充実



▲住民参画型の総合防災訓練（本荘北）

問 地域防災計画の見直しで、大規模広域災害に対処するため、自治体レベルの防災に加えて、地域コミュニティの重要性が問われている。本町の地震に対する取り組みは。
答 自主防災組織を中心とした防災活動の強化充実に取り組んでいる。今後は、組織のリーダーの養成にさらに取り組み、情報の共有を図り、町内組織全体の防災力の向上を目指す。
問 総合防災マップの活用は
答 公民館や集会所に掲示

問 総合防災マップは町で起こる災害を知り、災害時の取るべき行動を考え、わが家の避難マップを作って備えるための情報を掲載している。どのように活用するのか。
答 自治会の公民館や集会所に掲示をお願いするとともに、わくわく講座の中で、防災マップの内容などについて説明を行い周知していく。
問 公園遊具の安全確保は
答 遊具点検 専門業者に委託
問 公園は子どもにとって楽しく、安全に遊べるための遊具を備えた遊び場である。安全性を高め、事故を未然に防ぐには、管理する側はどのような処置を講じているのか。
答 年一回、遊具点検専門業者に委託している。日常の点検として、月2回シルバー人材センターが巡回し、異常の有無を確認している。古くなった遊具は点検結果により、補修更新を行っている。

公用車活用で防犯対策を

政風会
岡田 千賀子



町長 公用車の青パト化は難しい



▲商工会所有の青パト

問 多くの自治体が公用車にドライブレコーダーを設置して、走る防犯カメラと位置づけし、青色回転灯の装備とともに犯罪抑止対策として活用されている。
答 防犯パトロール機能を備え青パト化した公用車で町内を走ることにより、住民に安心感を与え、ともに犯罪件数削減に取り組む考えは。
問 ドライブレコーダー搭載については、職員の安全意識の向上や万一の事故時に対応できるもの

として考え、現在検討中である。
問 青パト化の要件は、自主防犯パトロール活動の実績・計画に照らし、継続的な自主防犯パトロールの実施が認められることとされている。もっぱら地域の防犯のために行われる活動であり、移動目的や他の業務と兼ねて行うことはできない。
答 また、防犯講習を受講し、パトロール中に予想される事案に対し、適切に対応できると認められなければならない。
これらのことから、本町では、公用車の青パト化は難しいと考える。
問 加古川市委託の青パト巡回の現況と課題は
答 週2回で、1回2時間実施しているが、青パト台数や巡回を依頼している警友会の会員数が限られており、回数や時間増は困難である。
その他の質問
▼古宮大池の環境整備は
▼自治会加入促進対策を

青パトとは自主防犯活動を行う青色回転灯を装備した自動車

交差点手前にカラー舗装を

日本共産党
田中 久子



赤田理事 実証実験の結果で協議



▲加古川市内のカラー舗装の交差点

問 播磨町の交通事故件数は、平成28年3月末現在で45件、傷者54人、死者1人で前年度を上回っている。事故多発地を改善するため、交差点の手前にカラー舗装の実施の考えは。
答 交差点ごとに、交通管理者の公安委員会と協議することが必要であり、加古川市で試験設置され、効果の測定、分析が実施されている。新たな法定外標示は公安委員会で検討する。実証実験の結果を受けて協議したい。

問 東部コミセンは古宮一子、二子北、駅東の自治会で構成されている。各種サークル活動が盛んで、地域の学習、文化など社会教育の中心的な役割を果たしている。昭和50年に建設され老朽化しており、利用者の高齢化が進む中でエレベーターがなく、場所が分りにくい。大池広場東の町有地への移転を含めた建て替え計画の考えは。
答 平成21年に新築も含め東部コミュニティ委員会と協議を行った結果、新築移転でなく改修し長寿命化を図るべきとの意向を受け、フリースペースと屋上防水、外壁塗装の大規模改修を実施。今後も必要な改修を行う。エレベーター設置についてはスペースもなく困難である。
その他の質問
▼大池広場に休憩設備を